

うまい!

岩船米づくり情報 No. 9

平成 28 年 8 月
岩船農業振興協議会
村上農業普及指導センター
JA にいがた岩船

刈り遅れによる胴割れの発生に注意!

最後まで気を緩めずに...

適期収穫と丁寧な乾燥・調製で全量 1 等米を!

◇生育状況 ～早生の出穂期はかなり早い～

- 本年の出穂期は平年に比べ、早生で4日程度、コシヒカリで1日程度早くなりました。
- 6月下旬～7月上旬の最低気温が高く、日照時間が少なかったため、草丈が伸びました。コシヒカリでは倒伏を回避するため、一回目の穂肥を控えて、後半重視の対応が行われました。
- 早生の出穂期に当たる7月下旬は高温が続きました。登熟初期に高温の影響を受けると、胴割粒や白未熟粒の発生する危険性が高まります。適期収穫と丁寧な乾燥・調製が重要です。

◇品種別の出穂期と収穫適期のめやす (8月12日現在)

熟期	品 種 名	出穂期	収穫適期のめやす
極早生	新潟次郎	7月18日	8月25日～8月29日
早生	五百万石	7月23日	8月28日～9月1日
	こしいぶき	7月27日	9月2日～9月6日
中生	こがねもち	7月31日	9月8日～9月12日
	コシヒカリ	8月9日	9月19日～9月25日
晩生	越 淡 麗	8月14日	9月27日～10月1日

※収穫適期のめやすは、出穂期以降の積算平均気温による予想値。積算方法は出穂期翌日～8月11日までは本年値、8月12日以降は、平年値で推移したと仮定し、計算した。

※コシヒカリでは、出穂期の早い地域もあるので、刈り遅れに十分注意する。

【籾の黄化程度から、収穫期を推測する方法】

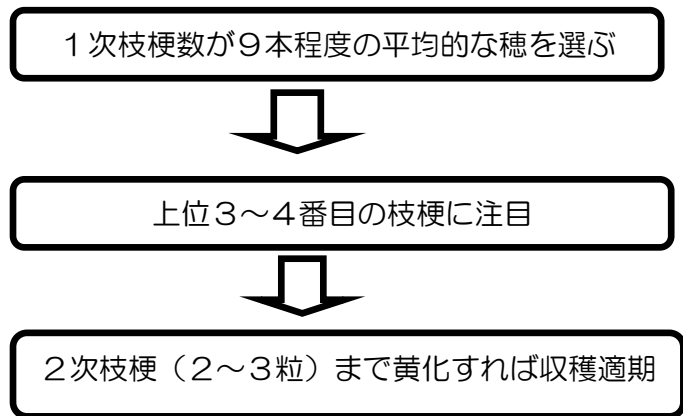
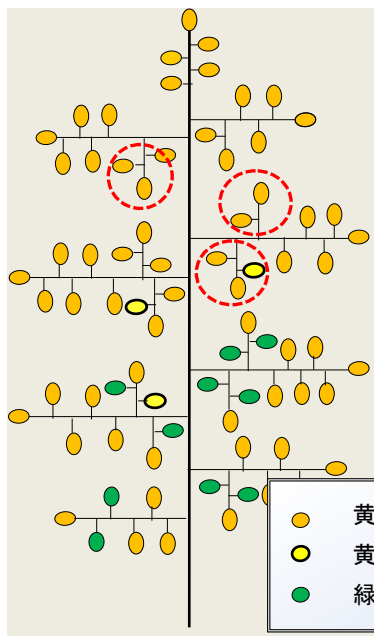


図 収穫適期の黄化籾率 85～90%の状況 (富山県水稻栽培指針から引用)

◇今後の栽培管理のポイント

1 出穂 25 日後までの「飽水管理」で根の活力維持を！

※水管理のポイントは、根の活力低下を防止することです。こまめな水管理で、根への酸素供給と水分供給を行いましょ。

- 出穂後 25 日（収穫の 2 週間前）以降までの飽水管理（水がなくなったら補給する管理）で、イネが水を十分に吸収し、登熟向上が図られるように心がけましょ。
- フェーン現象やダシ風が予想される場合は、速やかに湛水して稲を保護しましょ。
- 輪番給水地域は気象予報等に十分注意し、給水可能な日に事前に対応しましょ。
- コシヒカリでは、完全に落水するのは 9 月 5 日以降としましょ。

2 刈り取り前の準備を万全に！ ～高温下の収穫作業の準備を！～

○圃場の準備

- 種子が玄米に混入する恐れのあるクサネムなどほ場内の雑草は、事前に抜き取りましょ。
- 排水が悪く、軟らかい圃場では、収穫の 2 週間前頃から乾田化を図りましょ。

○作業場・機械類の準備

- 刈り取りの 1 週間前までに作業場の清掃を行うとともに、コンバインや乾燥機、調製機械等の点検や注油を行いましょ。

〈右写真：クサネム〉



3 適正な乾燥で胴割れ等の発生を防止しましょ！

- 適正な乾燥温度は、初期水分 24% で 50℃ 以下、初期水分 28% で 40℃ 以下です。乾燥速度が毎時 0.8% を超えると胴割粒の発生が大きくなるので、注意しましょ。
- 青米やくず米の混入が多いと乾燥終了後に玄米水分が戻る場合があるので、状況に応じて仕上水分を目標水分（15.0%）より低めに設定しましょ。

4 適正な調製で整粒歩合を上げ、1 等米に仕上げましょ！

○粳すり

- 肌ずれ防止のため、粳すりは、粳の温度が常温近くまで下がってから行いましょ。
- 肌ずれ米、碎米、粳の混入を防止するため、ゴムロール間隔は 0.8～1.2 mm を基準に、脱ぶ率が 80～85% になるように調節しましょ。

○米選

- 未熟粒は粒厚が薄い傾向にあるので、必ず 1.85mm 以上のふるい目を用い、流量調節を適正にして、未熟粒やくず米を除去しましょ。



高温時は農作業安全に心がけましょ！



- 早生品種は気温の高い時期の収穫作業となります。いつも以上に作業者の健康管理に気を配りましょ。
- コンバイン作業では、粳やわらなどの「つまり」を取り除く時に大きな事故になりやすいものです。点検は必ずエンジンを止めてからにしましょ。

農作業は、帽子とマイボトルをもってGo！